

展覧会の絵 (1966)

メディア 映画 アニメ

ジャンル 音楽

製作国 日本

色彩 Color

時間 39分

初公開日 1966/11/11

【解説】

手塚治虫の実験アニメーション作品のひとつ。手塚治虫版の「ファンタジア」ともいえる作品。ムソルグスキーの組曲『展覧会の絵』から受けたインスピレーションをもとに10本のオムニバス・アニメが展開していく。ラヴェルの編曲版に着想を得ているが、実際の編曲は富田勲が担当。後に富田自身のアルバム用にこの組曲をシンセサイザーで編曲しているが、これは本作の影響が深いと思われる。「評論家」「人工造園師」「整形外科医」「工場主」「チンピラ」「チャンピオン」「テレビ・タレント」「禅／葬式」「兵隊」「フィナーレ」の10話が、それぞれ視覚的にさまざまな実験をおこないつつ、アニメーションとしてのおもしろさと楽しさ、風刺をとりまぜながら、間奏によって結ばれ展開していく。

【クレジット】

総監督 手塚治虫 Osamu Tezuka

演出 大貫信夫

三輪孝輝

松尾信吾

杉山卓

伴俊作

原案 手塚治虫 Osamu Tezuka

脚本 手塚治虫 Osamu Tezuka

美術監督 永原達也

編集 松浦典良

音楽 富田勲

(ムソルグスキー作曲、組曲「展覧会の絵」より)